

国立病院機構佐賀病院

～初期医師臨床研修のご案内～



ゆっくり、じっくり、確実な研修

✓1年目に内科・外科で基礎的な総合力

自由度が高い2年目研修

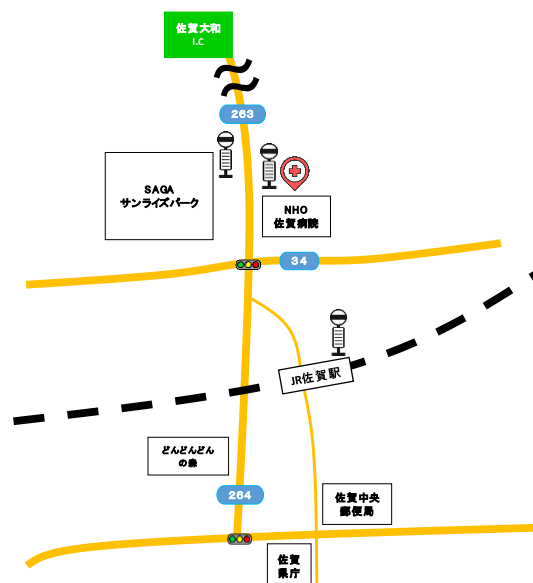
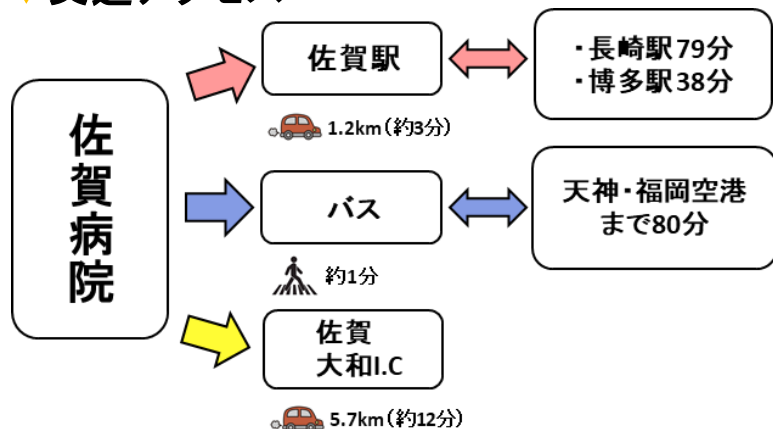
✓2つの大学病院の他、県内外の基幹病院

鉄は熱いうちに打て！

✓救急の副直、当直で瞬発力・判断力



▼交通アクセス



1
年
目

内科
6ヶ月

外科(救急)
4ヶ月

麻酔科
2ヶ月

- *院内の慣れた環境で腰を落ちつけて総合力を身につける
- *研修医を中心とした診療体制
- *患者さんを総合的に診られる(転科・転棟なし)
- *基本的な手技を繰り返し学べる
- *手術のみならず、術後の化学療法、緩和ケアまで

2
年
目

産婦
1ヶ月

小児
1ヶ月

地域
1ヶ月

精神
1ヶ月

選択研修 8ヶ月
(当院または関連施設で希望の診療科を研修)

▼選択可能な関連研修施設

- ・長崎大学病院
- ・佐賀大学医学部附属病院
- ・佐賀県医療センター好生館
- ・新古賀病院
- ・唐津赤十字病院
- ・NHO川棚医療センター
- ・NHO嬉野医療センター
- ・肥前精神医療センター

▼地域医療研修施設

- ・奈留医療センター
- ・満岡内科消化器科医院
- ・ぶどうの木クリニック
- ・唐津市民病院きたはた

- 研修医カンファレンス 毎週木曜日
- 研修医のためのミニレクチャー 月1回

プライマリからプロフェッショナルへ

当NHO佐賀病院のスローガンは、“人に優しく、仕事に厳しく”です。研修医として知識や技術を学ぶことは大切なことですが、それ以前に1人の医療スタッフひいては一社会人として、患者さんから院内のスタッフに至るまで全ての人に挨拶を欠かさず優しく接することが大切だと考えています。

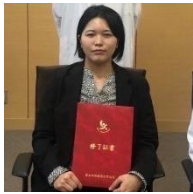
ご存じの通り、臨床研修の主目的は「プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得すること」と定められています。当院では1年目で内科、外科、麻酔科で基礎的な総合力を着実に身につけ、2年目で将来を見据えた幅の広いオーダーメイドのローテーションを自由に組むことができます。

もう一つの特徴は救急研修です。当院はいわゆるcommon diseaseが多く集まる2次救急病院ですが、救急部専属の医師はおらず、主に内科医が当番で急患に対応しています。研修医1年目は指導医のもとファーストタッチを行い、2年目には内科当直を担当してもらっています。ここで聞く力、身体所見の取り方、検査の選択、検査所見・画像所見の読み方、治療法など総合的な診療能力が試されます。もちろん十分なバックアップ体制を確保した上で行っています。

臨床研修で最も大切なことはプロフェッショナリズムの涵養だと考えています。当院のプログラムでは、自律性、主体性を尊重しながらプライマリ・ケアを中心とする日常診療を通して、高い診療能力と高いコミュニケーション能力を養成します。プロフェッショナルとしての第一歩を当院で踏み出しませんか？

臨床研修プログラム
責任者
内橋 和芳





神藤 愛 佐賀大学出身(令和2年～3年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						麻酔科		外科(救急)			
2年目	産婦人科	神経内科(佐大)		泌尿器科	感染(好生館)	小児科	形成外科	放射線科	精神(佐大)	地域(満岡)	腎臓内科(佐大)	

▼ 佐賀病院を選んだ理由

佐賀病院を研修先として選んだ理由の一つとして、2年目からの内科当直を経験できることです。1年目の時は、指導医の下について時間外受診や救急車に対応しますが、2年目からは研修医が内科系の救急対応をします。初期対応、検査、診断、治療、入院の有無など自分で決める必要があるため、3年目以降にも必要な経験を積むことができます。

職場の雰囲気がとても良かったことも佐賀病院を研修先として選んだ理由の一つです。標榜科が全て揃っているわけではなく、科に1人しか医師のいないところもありますが、先生方は優しくとても熱心に指導してくださりました。また看護師や薬剤師、技師などのコミディカルの方々も優しく指導してくださり、職場としてとてもいい雰囲気の中で研修2年間を終えることができました。

▼ どんな研修生活であったか(良かった点・悪かった点)

初めて社会人、医師として働く場所としてはとても恵まれた場所であったと思います。前述のように職場の雰囲気が良く、私たちがしたいと思ったことはさせてくれようとするバックアップ体制がありました。選択科にもよりますが、手技をさせてもらえること、方針を決定し、治療内容を選択することなど、他の病院に比べても裁量権が多いと思いました。

現在では、1年目の副直(17時から22時)や2年目の当直に専念できるよう、翌日に休めるようになっています。当直帯では寝ずに朝を迎えることもあるので、良い制度だと思います。

研修医の人数に関しては私がいたころは、1、2年目合わせて10名程度でした。少なすぎず、多すぎずという感じで、私にとっては全員と密な時間を過ごすことができた人数だったと思います。研修医だけの部屋が用意されており、緊張をほぐせる場所があったことも良かったです。研修医室でそれぞれが経験した症例について共有したり、2年目からの内科救急当直の際に相談したり、またプライベートでもご飯会や小旅行などを企画・実行したりと充実した時間を過ごすことができました。

基本的に、医師を含むスタッフ皆が時間内にしっかり仕事を終わらせ、私生活とのメリハリをつけています。そのような姿勢をみて過ごし、ただ漫然と時間を過ごすことがよいとは思わなくなり、より仕事に精を出すことができました。

研修医の人数は選ぶ人によっては悪い点になるかと思いますが、ない標榜科に関しては不安に思うこともありましたが、大学病院などで研修させていただくことで、十分カバーすることができました。

▼ 選択科の選び方のポイント(何を重視してローテーションを組んだか)

私は産婦人科と神経内科のどちらかで迷っていましたが、ただ院内では神経内科がなかったため、2か月間大学研修を選択しました。その他、感染症内科は好生館での研修を選択しました。最終的には産婦人科を選択したので、形成外科研修をしたいと思院内のローテーションを途中変更するなど融通を利かせていただきました。私たちの学年以降、必修科目があるので自由に選択できる科の数に制限があって、入局する科を迷っていた私には選択が難しかったです。基本的なことですが、興味がある科や今後付随して学習した方がよいと思うところを選択しました。

▼ 先輩へのメッセージ

以上が簡単な紹介になります。私自身、見学することでさらに佐賀病院の魅力に気づくことができたので、興味のある方はぜひいらしてください。



内田 大介 長崎大学出身(令和3年～4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科(救急)				麻酔科	
2年目	皮膚科	皮膚科(佐大)	放射線科	小児科	産婦人科	整形外科	皮膚科	地域(ぶどうの木)	精神科(佐大)	泌尿器科	病理	

▼ 佐賀病院を選んだ理由

・私は研修医のうちに内科のcommon diseaseを診療でき、重篤な疾患を見逃さず適切にコンサルトできるようになることを目標としていました。よって市中病院が第一選択でした。

・佐賀病院は研修医が主体的に診療する場面が多いことや、内科当直を1人で行うところが、実践力が身に付くと感じ、自分に合っているのではないかと思います。

・研修医の先生方と上級医の先生との関係が良好に感じ、加えてコミディカルの方々とも温和にコミュニケーションをとられているのを見て魅力的に感じました。

・最後の決め手となったのは研修医担当の先生が接しやすく、相談しやすいところです。2年間充実した研修が行えると確信しました。

▼ どんな研修生活だったか

一番印象的なのはやはり1人での当直です。とても大変でした。しかし、上級医の先生が優しく電話相談にも応じてくれ、自分だけでは手に負えない場面では沢山助けてくださいました。また週に1回当直症例を発表するカンファレンスがあるので、フィードバックを頂き新たな発見が沢山ありました。結果的には、ただ教わるよりも身につくスピードが早かったように感じます。

また、日中の研修において外科では、ポーツと見学ということは一切なく、1人の戦力として扱ってくれ、手術に加わっている実感がありとても充実していました。内科でも先生と良好なコミュニケーションを取りながら診療することができました。

▼ 選択科の選び方のポイント(何を重視してローテーションを組んだか)

当院は1年目は内科6ヶ月、外科(麻酔科)で6ヶ月回ることが決まっています。common diseaseを学びたい私にはベストな内容でした。2年目は自由に組めますが、3年目以降の進路決定の点から早めに希望の診療科を回る方がお勧めです。

▼ 先輩へのメッセージ

当院は本当に先生に恵まれていると思います。ぜひ一度病院見学にお越しただいて実感していただければと思います。

あと今のうちに沢山遊びましょう！！

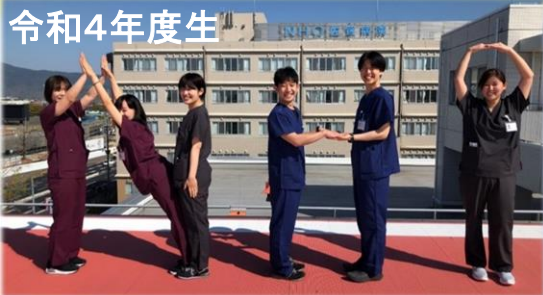
▼佐賀病院の概要・特徴

病院長: 円城寺 昭人

292床 15標榜診療科
医師数62名(研修医11名含む)

急性期型総合病院
2次救急病院
佐賀県唯一の総合周産期母子センター
年間時間外患者数 約4,200人
年間救急車搬入数 約2,600人

令和4年度生



▼研修医の処遇

- ・身分: 臨床研修医(期間職員)
- ・勤務日: 月～金曜日, 祝祭日あり
- ・有給休暇: 年間 23日
- ・給与: 1年目37万円 2年目37.5万円(税込)
- ・時間外勤務: 原則なし
(外科では緊急手術による応援要請あり, 別途手当支給)
- ・1年目副直、2年目当直あり(別途手当支給)
- ・宿舎: なし
- ・社会保険: 健康保険、厚生年金、雇用保険に加入する
- ・健康管理: 年2回健康診断あり
- ・学会、研究会: 出席可、発表演者の費用: 病院負担
- ・学術論文の投稿ならびに掲載にかかる費用: 全額病院負担

▼研修医の出身大学

～過去4年 計21名～

- ・佐賀大学(17名)
- ・長崎大学(2名)
- ・熊本大学(1名)
- ・久留米大学(1名)



▼研修修了後の進路先

～過去2年 計10名～

- ・佐賀大学医学部附属病院(6名)
- ・唐津市民病院きたはた(1名)
- ・長崎大学病院(2名)
- ・その他(1名)

研修・見学を希望される方へ

ホームページまたはQRコードより申し込みください

<https://saga.hosp.go.jp/>

〒840-5877

佐賀県佐賀市日の出一丁目20-1



TEL: 0952-30-7141

Mail: 606-kanriG@mail.hosp.go.jp